



【学校教育目標】

笑顔いっぱい

～気づき、考え、行動する 高島っ子を育てる～

長崎市立高島小中学校 校長 宇土 衛



電子メディアの利用どうされていますか？

先日、保健室通信で「長崎っ子 電子メディアの約束」が紹介・配布されました。

現代社会における子どもたちの生活において、大きな懸念材料の一つが「メディア利用時間の増加」です。教育の中で、1人一台PCが配備されたように、ICT機器の活用はこれからの世界を生きる必要アイテムには間違いありません。しかし、そのことと、余暇や友達との交流で自由に使うメディア利用とは区別しなければなりません。また、メディア利用時間の長さや学力の相関関係は明らかにあると言われます。そのような危機感をもっていたところ、次のような面白い話を聞きました。ぜひ、ご家庭でも今一度電子メディアの使用について話題にいただければと思います。

「愛のあふれる使用契約書」スマホ18の約束

アメリカ・マサチューセッツ州のあるお母さんが、13才の息子が欲しがっていたスマホをクリスマスプレゼントとして渡す際、どうすれば子どもをネットから守り、健全な使い方ができるかを考えて18箇条にしました。全米で話題になったそうです。内容が的確かつ愛に満ちたものとなっています。

愛のあふれる使用契約書 スマホ18の約束

大切なグレゴリーへ。あなたはこれからiPhoneを持つことができます。でも、このプレゼントを受け取るにはルールや規則が伴います。あなたがテクノロジーに振り回されることなく、うまく活用できる大人になるために、健康でしっかりとした青年に育てることが私の役目であることを分かってくれることを願います。

- ① これは私の携帯です。私が購入し支払います。あなたに貸しているのです。私って優しいでしょ。
- ② パスワードは私が常に把握します。
- ③ これは「電話」です。鳴ったら出ること。「もしもし こんにちは」と礼儀正しく言いなさい。もし画面に「ママ」や「パパ」と出たら、無視することなく必ず出なさい。
- ④ 学校がある日は夜の7時半、毎週末は夜9時に親に電話を預けなさい。友達の親が直接出る固定電話に電話できないような相手なら、そんな友達とは電話もメールもしてはいけません。
- ⑤ 携帯電話は学校に持って行ってはいけません。メールのやりとりをする子とは直接話をしなさい。会話をすることは人生のスキルです。
- ⑥ 携帯電話がトイレや床に落ちたり破損したりした場合の修理費用はあなたの責任です。芝刈り・ベビーシッター・お誕生

裏面へ

日のお祝いのお金で、あなたに払ってもらいます。こういうことは起きます。準備しておいた方がいいわよ。

- ⑦ テクノロジーを、他の人に嘘をついたり、馬鹿にしたりするために使わないこと。他の人を傷つけるような会話には関わらないこと。
- ⑧ 面と向かって言えないようなことは、携帯電話を通してメールやテキストメールを送らないこと。
- ⑨ ポルノは禁止。私にオープンに共有できる情報をWEBで検索してください。何か質問したいことがあれば人に尋ねなさい。なるべく私かパパに聞いてね。
- ⑩ 公の場では電源を切るか、マナーモードにすること。
- ⑪ あなたは失礼なことはしない子です。iPhone を持っても変わらないでください。
- ⑫ 他の人にあなたの大事な部分の写真や、他の人の大事な部分の写真を送ったり受け取ったりしないこと。笑わないで。あなたがいくら賢くても、そういうことをしたくなる時期がやってきます。悪い考えです。インターネットは、あなたよりも非常に巨大で強力なのです。これほどの規模を消すのは難しいし、風評を消すのも厳しいのよ。
- ⑬ 膨大な数の写真やビデオを撮らないこと。全てを記録する必要はありません。自分自身の体験を大切に。そうした体験は永遠に残るものよ。
- ⑭ 時々家に携帯を置いていきなさい。そしてその選択に自信を持ちなさい。携帯電話は生き物でもないし、あなたの一部でもありません。携帯電話なしでも暮らしていけることを覚えてください。取り残されるのを恐れるのではなく、流行に流されない。器の大きい人間になりなさい。
- ⑮ 新しい音楽やクラシックなど、いろんな曲をダウンロードしなさい。あなたの仲間が聞いている音楽だけでなく、様々な曲を

聞きなさい。あなたの世代は史上最も音楽にアクセスできる世代なのよ。この利点を活用して視野を広げなさい。

- ⑯ ワードゲームやパズル、知能ゲームで時々遊びなさい。
- ⑰ 上を向いて歩きなさい。あなたの周囲の世界に目を向けなさい。窓を眺めたり、鳥のさえずりを聞いたり、散歩したり、知らない人と会話をしてみてください。ネットで検索せずに、思考しなさい。
- ⑱ あなたは約束を守れないかもしれません。その時、私はあなたの携帯を没収します。その時は話し合しましょう。もう一度はじめてやり直します。あなたと私は常に学んでいるのです。私とあなたはチームメイトなのです。一緒に答えを出していきましょう。

大変長くなりました。しかし、とても大切なことなのです。要は、きちんと親と子どもの両者が納得の上で「我が家のルール」がつくれているか！です。特に重要なのは、「スマホは親の所有物であり、それを親の許可の上で子どもに貸し出しているのだ」という前提です。責任も権利も親が持っているということに自信をもっていきましょう。

最後に。スマホの約束を『あとがこわい』という標語にしたものがあります。

- 「あ・・・会わないで」
- 「と・・・撮らないで」
- 「が・・・画像を送らないで」
- 「こ・・・個人情報を書き込まないで」
- 「わ・・・悪口を書き込まないで」
- 「い・・・いじめないで」

この標語は福島県警が、子どもたちがメディア関連の事件に関わらないように作ったものです。私たち大人が、しっかりと子どもたちを守っていきましょう。